



平成 19 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名	日本電産株式会社
代表者名	代表取締役社長 永守 重信
取 引 所	東証一部・大証一部（6594） NYSE（NJ）
問合せ先	広報宣伝部長 田村 徳雄
T E L	（075）935-6150

当社子会社 5 社の平成 20 年 3 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である日本電産サンキョー株式会社(コード:7757 東証)、日本電産コパル株式会社(コード:7756 東証)、日本電産トーソク株式会社(コード:7728 東証)、日本サーボ株式会社(コード:6585 東証)、日本電産リード株式会社(コード:6833 大証)は、平成 20 年 3 月期中間業績予想を別紙の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

平成19年10月22日

各位

会社名 日本電産サンキョー株式会社
 代表者 代表取締役社長 安川 員仁
 コード番号 7757 (東証第一部)
 所在地 長野県諏訪郡下諏訪町5329
 問合せ先 経理部長 上原 敏典
 電話 (0266) 27-2999

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年4月25日に公表した平成20年3月期中間(平成19年4月1日～平成19年9月30日)の連結・単独業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

1. 平成20年3月期 中間連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表(A)	50,000	3,000	3,000	2,500
今回修正(B)	52,500	4,100	4,180	3,200
増減額(B-A)	2,500	1,100	1,180	700
増減率	5.0%	36.7%	39.3%	28.0%
前期実績	58,043	6,061	6,381	5,903

2. 平成20年3月期 中間単独業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表(A)	31,000	1,200	2,000	1,500
今回修正(B)	34,500	2,000	3,000	2,800
増減額(B-A)	3,500	800	1,000	1,300
増減率	11.3%	66.7%	50.0%	86.7%
前期実績	41,936	4,796	5,649	4,479

3. 修正の理由

【連結】

売上高の修正については、ステッピングモータ、光ピックアップユニット、ホームアプライアンスユニット等が当初予想に対して増収となったことによるものです。営業利益については、上記の増収効果に加え、電子部品関連事業製品の収益改善が進んだことによるものであります。又、経常利益・当期利益については営業利益の修正に伴うものであります。

【単独】

単独業績の修正については、連結業績の修正事項による単独への影響を反映したものであります。

4. 通期業績の見直し

個別及び連結の通期業績(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の見直しにつきましては、中間決算発表時(平成19年10月26日予定)に開示させていただきます。

以上

平成19年10月22日

各 位

会社名 日本電産コパル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 井澤 茂
 (コード番号 7756 東証第1部)
 問合せ先 常務取締役管理部門統括 米田 敬智
 TEL 03-3965-1111 (大代表)

当社の親会社 日本電産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 永守 重信
 (コード番号 6594 東証・大証第1部)

中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年4月25日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の中間期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期の中間期連結業績予想の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年4月25日発表)	百万円 40,000	百万円 2,900	百万円 2,900	百万円 1,700	円 銭 27.04
今回修正予想(B)	43,000	3,450	3,600	2,600	41.36
増減額(B-A)	3,000	550	700	900	14.32
増減率(%)	7.5	19.0	24.1	52.9	53.0
(ご参考) 前中間期実績(平成18年9月)	40,113	2,679	2,796	1,823	29.00

修正理由(連結)

当中間期につきましては、デジタルカメラ市場が引き続き好調に推移したことから、当社においてもカメラ用シャッター及び金属外装が過去最高の出荷数・売上高となりました。また、携帯電話用シャッターにつきましても、大手顧客からの旺盛な受注増により、同様に過去最高となりました。

利益の面につきましても、上記増収効果や原価の低減、経費の削減等の損益改善活動が奏功し、前回公表した連結の売上高、営業利益、経常利益、中間純利益の中間期業績予想を上回る見通しとなりましたので、上方修正いたします。

また、今中間期に連結対象会社である日本電産科宝(浙江)有限公司の連結会計期間を、従来の1月~6月の6ヶ月から1月~9月の9ヶ月に変更いたしました。

なお、通期業績予想につきましては現在策定中であり、10月26日の「中間決算短信」の連結業績予想にて発表いたします。

2. 平成20年3月期の中間期個別業績予想の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A） （平成19年4月25日発表）	百万円 33,000	百万円 1,200	百万円 1,600	百万円 900	円 銭 14.31
今回修正予想（B）	34,800	1,600	1,700	1,300	20.68
増減額（B-A）	1,800	400	100	400	6.37
増減率（%）	5.5	33.3	6.3	44.4	44.5
（ご参考） 前中間期実績（平成18年9月）	34,836	1,643	1,786	1,062	16.90

修正理由（個別）

当中間期につきましては、デジタルカメラ市場が引き続き好調に推移したことから、当社においてもカメラ用シャッター及び金属外装が過去最高の出荷数・売上高となりました。また、携帯電話用シャッターにつきましても、大手顧客からの旺盛な受注増により、同様に過去最高となりました。

利益の面につきましても、上記増収効果や原価の低減、経費の削減等の損益改善活動に加え、子会社配当による外国税額控除等もあり、前回公表した売上高、営業利益、経常利益、中間純利益の中間期業績予想を上回る見通しとなりましたので、上方修正いたします。

なお、通期業績予想につきましては現在策定中であり、10月26日の「中間決算短信」の個別業績予想にて発表いたします。

以上

平成19年10月22日

各位

会社名 日本電産トーソク株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹松 和男
(コード番号 : 7728 東証第一部)
問合せ先 経理部長 丹野 光好
(TEL 046-252-3112)

当社の親会社 日本電産株式会社
代表者名 代表取締役社長 永守 重信
(コード番号 : 6594 東証・大証第一部)

平成20年3月期 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年7月27日の第1四半期決算発表時に公表しました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 中間期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,500	650	650	320	16.63
今回修正予想(B)	12,200	800	830	450	23.39
増減額(B-A)	700	150	180	130	6.76
増減率(%)	6.1	23.1	27.7	40.6	40.6
(ご参考)前年中間期末実績 (平成19年3月期中間期)	11,753	1,036	1,069	670	34.84

(2) 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,500	500	500	260	13.51
今回修正予想(B)	12,200	700	710	400	20.79
増減額(B-A)	700	200	210	140	7.28
増減率(%)	6.1	40.0	42.0	53.8	53.9
(ご参考)前年中間期末実績 (平成19年3月期中間期)	11,086	759	776	474	24.64

2. 修正の理由

当中間期の連結業績は、自動車部品事業・半導体製造装置事業・計測機器事業ともに受注が好転してきており、売上高は12,200百万円と前回予想値を上回りました。利益面におきましては、売上増に加え原価低減活動も寄与し、営業利益800百万円、経常利益830百万円、中間純利益は450百万円と予想値を上回ることとなりましたので修正いたします。当中間期の個別業績は、連結と同様の理由により修正しております。

連結及び個別の通期業績(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の見通しにつきましては、中間決算発表時(平成19年10月26日予定)に開示させていただきます。

注) この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものです。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の業務運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果になる可能性があります。

以上

各 位

平成19年10月22日
会社名 日本サーボ株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 卓也
(コード番号 6585 東証第二部)
問合せ先 経理部長 坂本 博
TEL (0277)53-8817

当社の親会社 日本電産株式会社
代表者名 代表取締役社長 永守 重信
(コード番号 6594 東証・大証第一部)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年4月27日より日本電産株式会社経営の導入により、経営改善が急激に進んでおり、次なる成長展開への準備は着実に進行しております。平成19年7月27日の公表した平成20年3月期中間業績予想(平成19年4月1日～平成19年9月30日)を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成20年3月期中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1)連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	15,000	▲250	▲250	▲150
今回発表予想(B)	17,490	423	390	350
増減額(B-A)	2,490	673	640	500
増減率(%)	16.6	-	-	-
(ご参考)				
前期実績(平成18年9月期)	16,054	▲141	▲217	▲536

(金額の単位:百万円、%)

(2)個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	14,500	▲200	▲200	500
今回発表予想(B)	16,470	▲300	▲360	480
増減額(B-A)	1,970	▲100	▲160	▲20
増減率(%)	13.6	-	-	▲4.0
(ご参考)				
前期実績(平成18年9月期)	15,213	91	12	▲281

(金額の単位:百万円、%)

2. 連結業績予想上方修正の主な理由

売上高は、情報通信分野に使用される高信頼性ファンモータや、家庭電器分野に使用されるアイスメーカー等が増加しました。

損益面では、日本電産株式会社の経営手法(3Q6S活動他)の導入推進により、海外事業所を中心に大幅な原価改善が進み、3期ぶり黒字に浮上する見込みです。

3. 個別業績修正の主な理由

売上高は、上記「2. 連結業績予想上方修正の主な理由」に記載しましたと同様、個別も増加の見込みであります。営業利益は、リスク要因である棚卸資産減価引当金を追加計上しております。経常利益は、8月の急激な円高により為替差損が発生しましたが、中間純利益は、子会社の業績が改善されたことによる貸倒引当金戻入益(特別利益)が発生し480百万円の見込みです。尚、貸倒引当金戻入益は連結の業績には影響ありません。

4. 通期業績見通し

個別及び連結の通期業績(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の見通しにつきましては、中間決算発表時(平成19年10月26日予定)に開示させていただきます。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、さまざまな要因により見通しと異なる結果となる場合があります。

平成19年10月22日

各 位

会 社 名 日本電産リード株式会社
代表者名 代表取締役社長 戒田理夫
(コード6833 大証第2部)
問合せ先 経 理 部 長 松浦正明
(TEL. 075 - 315 - 8001)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年4月25日の決算発表時に公表した平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成20年3月期中間連結業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,900	750	730	420
今 回 修 正 予 想 (B)	4,500	800	810	495
増 減 額 (B-A)	600	50	80	75
増 減 率 (%)	15.4%	6.7%	11.0%	17.9%
(ご参考) 前中間期実績 (平成18年9月期)	4,277	785	796	497

2 平成20年3月期中間個別業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,600	650	630	350
今 回 修 正 予 想 (B)	4,100	620	630	360
増 減 額 (B-A)	500	▲30	0	10
増 減 率 (%)	13.9%	▲4.6%	—	2.9%
(ご参考) 前中間期実績 (平成18年9月期)	3,933	610	623	374

3 修正の理由

プリント基板・半導体パッケージ業界における設備投資需要増加の動きのなか、着実な市場開拓活動が奏効し売上伸長の見込みであります。個別の営業利益は前回発表予想に届きませんが、連結子会社による利益貢献が好調に推移したことにより連結ベースでは売上、利益ともに当初予想を上回る見込みとなりました。

4 通期業績の見直し

個別及び連結の通期業績（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の見直しにつきましては、中間決算発表時（平成19年10月26日）に開示させていただきます。

<業績の予想に関する注意事項>

本資料に記載の予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等が予想と異なる場合があることをご承知おき下さい。

以 上